

福岡市フィルムアーカイヴ(福岡市総合図書館映像資料課)は、  
映画を通じたアジアとの文化交流、国際貢献を目的として、  
映画フィルムの収集・保存・公開・調査研究を行っています。

## 収集

映画フィルムの収集は日本を含むアジア各国の映画を対象にしています。特にアジアフォーカス・福岡国際映画祭の上映作品は積極的に収集しており、福岡市の文化的財産となっています。その中にはすでに本国で消失し、福岡にしかないという貴重なフィルムもあります。アジア映画専門のフィルムアーカイヴという施設は世界的にも珍しく、福岡市のアジア映画収蔵数は世界でもトップクラスです。

また日本映画の名作や郷土に関係する映像などの収集も行っており、アジアそして地域のフィルムアーカイヴとして活動しています。

(収集した作品例)



羅生門  
(1950年/黒澤明監督)



運動靴と赤い金魚  
(1997年/イラン/マジド・マジディ監督)



ボンベイ  
(1995年/インド/マニラトナム監督)

Film Collection

## 保存

収集した映画フィルムは総合図書館内の温湿度管理された収蔵庫で保管され、専門の職員により定期的にフィルムの状態チェックが行われます。映画フィルムはきちんと保管すれば数百年利用できるメディアです。感動的な映画、文化的・資料的に価値の高い映画、そして郷土の映像を、良好な状態で次世代の観客にも見せることができる。それが福岡市フィルムアーカイヴの保存活動です。

さらに福岡市フィルムアーカイヴ(福岡市総合図書館映像資料課)は、フィルムアーカイヴの国際組織である国際フィルムアーカイヴ連盟(FIAF)にも加盟しています。日本でFIAFに加盟しているのは福岡市総合図書館と東京国立近代美術館フィルムセンターの2館(2010年2月現在)だけです。世界のフィルムアーカイヴの中でアジア映画専門の収集・保存を行う福岡市の活動は高く評価されています。

Preservation

## 公開

収集した映画は福岡市総合図書館映像ホール・シネラで公開されます。韓国・中国・インド・イランなど様々なアジア映画をシネラでは上映しています。これは美術館の常設展にあたるもので、映像ホール・シネラでは通常上映として安価な料金で映画を上映いたします。また美術館の特別展にあたるのが映像ホール・シネラの特別企画で、映画館ではなかなか見られない映画を上映、多様で奥深い映像文化の世界を紹介し、映像文化の普及・振興に努めています。

アジア映画の名作、歴史や文化を知ることのできる貴重な作品、そして日本映画の名作やドキュメンタリーなどのバラエティに富んだ映画をシネラで鑑賞することができます。

上映プログラムはシネラニュース、市政だより、ホームページ等をご覧ください。

<http://www.cinela.com>



映像ホール・シネラの内部

Movie Hall Ciné-là